施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	施策主管課	町民税務課
	施策№	1-1	施策名	自然・生活環境の保全	施策主管課長名	大竹　淳志
関係課	町民税務課					

1．施策の目的

対象		意図	
	A 町域		A 人と自然の共生環境がさらに良好になっている
	B 地域		B 環境にやさしいライフスタイルの輪が広がっている
	C 町民		C 資源を大切にし、ごみを削減する意識が高まっている

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 2・3年前と比べて自然環境が良くなっていると感じている町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	59.3	60.5	60.7	60.8	60.9	61.1
				59.1	57.6	62.1	56	56.3
②	B 環境に気をつかった生活をしている町民の割合（増加）（現状値：H28-30平均）	%	80.3	80.7	81	81.3	81.6	81.9
				79.6	81.6	77.9	78.1	76.7
③	C 町から排出される町民一人あたりの生活系一般廃棄物の量（資源ごみを除く）（減少）（現状値：H30時点）	ｋｇ/人	267	239	234	230	225	222
				238	238	228	229	228
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は期間を通じて変動が大きく、令和５年度は目標値を達成したものの、その他の年度は目標値に届かなかった。 令和７年度は、前年度を0.3ポイント上回ったが目標値に4.8ポイント達しなかった。森林の管理不足や河川のごみや濁り、猛暑や集中豪雨による異常気象などの地球温暖化の影響を感じている町民の割合が増加傾向にあったことが要因と考えられる。
②	計画期間における実績値は、令和４年度は目標値を達成したものの、その他の年度は目標値に届いておらず、直近の実績値は下降傾向にある。 令和７年度は、前年度を1.4ポイント下回り目標値に5.2ポイント達しなかった。生活の忙しさやライフスタイルの変化、物価高騰などの経済的制約の中で、環境配慮を両立させることが難しいと感じている町民の割合が増加しているものと考えられる。
③	計画期間における実績値は、令和３年度及び令和５年度は目標値を達成したものの、直近の実績値は横這いとなっている。 令和７年度は、前年度より１kg減少したものの目標値に６kg達しなかった。空き家の整理や利活用に伴う多量ごみの処分件数が増加しており、臨時的に発生する多量ごみは排出量のみがカウントされるため、町民一人あたりの排出量が減少しない一因と考えられる。
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・出前講座や広報紙等によるごみの排出量の削減及び適正分別にかかる啓発活動、ごみ排出量の速報値の提供、生ごみ処理機等購入費補助の実施、多量ごみ排出者に対する資源物の分別徹底を指導した。
・事業所向けのごみガイドブックを作成し、事業所訪問による現状確認と廃棄物の減量化・資源化の取組を要請した。
・ペットボトルの水平リサイクルを開始し、CO２削減に取り組んだ。
・「第３期一般廃棄物処理基本計画」及び「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、一般廃棄物の適正処理や減量化の基本的な取組と、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた取組を定めた。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、生活環境の保全（施策１-１）に引き継がれる。
４R、３切り運動の推進、生ごみ処理機購入支援による生ごみの減量と、新たな分別実施の検討、古紙類や製品プラスチック、多量ごみ、事業系ごみの分別に取り組み、燃やせるごみの減量化を推進する。また、カーボンニュートラルの実現に向け、町民の環境負荷に配慮したライフスタイルへの転換や取組に対する情報発信と支援を推進する。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	5037	廃棄物減量対策事業	4,377	拡充	現状維持	②生産性改善	○
2	5430	廃棄物処分事業	292,271	拡充	現状維持	②生産性改善	○
3	16742	生活環境保全事業	1,600	拡充	拡大	①有効性改善	○
4	16790	狂犬病及び犬猫等処理事業	657	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	17708	電源立地地域対策交付金事業	8	評価対象外	評価対象外	評価対象外	